



マッサン通信

JR余市駅前で実施中のホワイトイルミネーションは 2月12日(日)で終了します

JR余市駅前周辺で昨年11月12日から実施中のホワイトイルミネーション「琥珀色の夢」は2月12日で終了します。

このイルミネーションはマッサン応援推進協議会が主体となって平成26年度から開始され、昨年度からは小樽と余市の合同企画である「小樽・余市ゆき物語」の中の本町の協賛イベントを兼ねて、午後4時から10時まで毎日点灯しています。

雪景色の中、ウイスキーをイメージしたメープルゴールドの光と、同時に実施されているニッカウヰスキー余市蒸溜所でのライトアップとの相乗効果により駅前一帯に幻想的な雰囲気醸し出されています。

終了まで残り少なくなりましたが、ぜひ冬の光の空間を楽しんでいただければ幸いです。



◆◆◆観光振興と地域活性化の推進に向けて◆◆◆

◆問合せ 「マッサン」応援推進協議会 事務局（商工観光課） ☎21-2125
協議会ホームページ <http://massanyoichi.com>

～冬の地震災害に備える～

冬に地震が起きると、夏より被害が大きくなるといわれています。冬は積雪の影響で家屋などの倒壊が発生しやすいことや、シビアな路面状況や吹雪などの視界不良により避難所までの避難路の確保や移動に時間がかかること、暖房器具などの火の使用により火災が発生しやすいこと、自宅や避難所、車の中などにおける寒さ対策が必要であることが考えられます。

今回は、冬に地震が発生した場合の備えについて解説します。

■雪に対する備え

冬になると屋根には雪が積もっていますので、地震の揺れによる屋根からの落雪、雪の重みによる家の倒壊の危険性が高くなります。また、地震の揺れで雪が一気に落ちて避難路がふさがれることもありますので、日頃からこまめな屋根の雪下ろしや、自宅周辺などで落雪の危険な箇所を確認しておきましょう。

■火災に対する備え

冬は、ストーブなど暖房器具を使用しているため、夏と比べて火災発生の危険性が高くなります。火事が起きたときに初期消火ができるように、日頃から家庭や地域、職場で消火活動の訓練をすることが大切です。

最近では、地震を検知して自動的にガスや灯油の供給を止める器具となっていますので、ご家庭の器具がきちんと動作するか、定期的に点検・確認しておきましょう。

■寒さ対策への備え

地震によって電気やガスなどのライフラインがストップし、暖房器具が使えなくなることが考えられますので、防寒着、毛布、使い捨てカイロを用意しておくことも大切です。避難が必要となった場合の道中やその後の避難生活でも必要となりますので、寒さ対策についても日頃から考えておきましょう。

◆問合せ 札幌管区气象台 地震火山課 ☎011-611-6125

余市町の空間放射線量率の状況

空間放射線量率は「**平常レベル**」でした

- ◆測定日：12月21日～1月23日
- ◆最高値：48nGy/h
- ◆最低値：22nGy/h
- ◆平均値：26nGy/h

※直近の測定結果については、町ホームページでご覧いただけます。

私たちは日常的に自然界から微量の放射線を浴びています。平常時に測定される「空間放射線量率」は10～60ナノグレイ毎時(nGy/h)程度で、雨が降ると一時的に上昇する場合があります。

地域協働推進課 ☎21-2142